



三井住友ファイナンス&リース、不動産投資信託運営のケネディクス<4321>をTOBで子会社化



三井住友ファイナンス&リース（SMFL）は20日、不動産投資信託（J-REIT）運営のケネディクスに対して子会社化を目的にTOB（株式公開買い付け）を実施すると発表した。ケネディクス株式は筆頭株主のシンガポール投資会社が20%強を保有する。SMFLは残る80%の株式をTOBで取得する。買付代金は1319億円。ケネディクスはTOBに賛同している。ケネディクスの東証1部上場は廃止となる見通し。

TOB主体はSMFLが設立したSMFLみらいパートナーズインベストメント2号（東京都千代田区）。ケネディクス株の買付価格は1株750円で、TOB公表前日の終値593円に26.48%のプレミアムを加えた。買付予定数の下限は所有割合46.4%で、筆頭株主のシンガポール投資会社の保有分と合わせて所有割合が3分の2超となる。

この投資会社はARA REAL ESTATE INVESTORS XVIII（エーアールエー・リアル・エステート・インベスターズ・エイティーン）。SMFLはARAとの間で、ケネディクス株式の約80%を取得したうえで、最終的に両社の所有割合がSMFLが70%、ARA30%となるよう調整することで合意している。

買付期間は11月24日～2021年1月8日（30営業日）。決済の開始日は2021年1月15日。公開買付代理人はSMBC日興証券。